

**2026年以降の  
新しい偶発事例報告事業システム**

日本産婦人科医会 医療安全部会  
2026年3月

# ハインリッヒの法則

1：29：300の法則

「1件の重大事故の裏には29件の軽微な事故と300件の怪我に至らない事故がある」

1931年「災害防止の科学的研究」ハーバート・ウィリアム・ハインリッヒ  
労働災害の統計から導き出された法則

# ヒヤリハット・インシデントレポート

- ヒヤリハット報告/ゼロレベル報告

1度目で重大事故にならなくてよかった、2度目が起きないうちに対策しよう

- 「ヒヤリ・ハット」はまず関わる関係者内で事例共有

〇〇な状況で〇〇ということが起きた

今回は「ヒヤリ・ハット」で済んだが、今後〇〇になる危険性がある

- 情報共有で、関係者が十分に注意を払うだけで事故のリスクを下げる事が可能
- 抜本的な対策は費用や時間で難だが、情報共有はすぐに実施可能
- 「ヒヤリ・ハット」の共有には心理的安全性が重要
  - 報告者よりも、関係者の報告者に対する心理的・倫理的配慮が必要
- ヒヤリ・ハットの段階での報告の方が、報告者の心理的な負担が軽微
- 対策の標準化が可能

# 偶発事例報告事業の目的

## 事業の目的

インシデント事例を収集・集計し、  
再発防止策の検討と情報共有を通じて  
産婦人科医療の安全性向上を図る

1. 報告：当該施設における医療安全意識の向上
2. 分析：事故背景や医療上の課題の抽出
3. 共有：他施設における類似事象の発生防止

# 報告システムの変更

## 1. Webベース報告システム

発生時に医会本部へ直接報告、利便性と迅速性の向上

## 2. 選択肢を基本とした入力形式

## 3. 問題点や発生因子についても報告

施設内での検討の内容を含めることで、インシデントレポートの役割をも担う。

## 偶発事例報告事業での報告対象

一定の処置が必要であった事例

濃厚な処置や治療を要した事例以上について報告を求める。

(インシデントの影響度分類 レベル**3b**)

\* 妊産婦死亡事例は本報告の対象外とする

## インシデントの影響度分類（3b以上を集計）

影響レベル	傷害の程度	傷害の継続性	内容
0	なし	なし	エラーや医薬品・医療器具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった
1	なし	なし	何らかの影響を及ぼした可能性はあるが、実害はなかった
2	軽度	一過性	処置や治療は行われなかった（バイタルサインの軽度変化、観察の強化、安全確認の検査などの必要性は生じた）
3a	中程度	一過性	簡単な処置や治療を要した（消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など）
<b>3b</b>	<b>高度</b>	<b>一過性</b>	<b>濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など）</b>
4a	軽度～中等度	永続的	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美観上の問題は伴わない
4b	中等度～高度	永続的	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美観上の問題を伴う
5	高度	死亡	死亡（現疾患の自然経過によるものを除く）



ログイン

## ログイン

施設番号

メールアドレス

パスワード

ログイン

[パスワードを忘れた方はコチラ](#)

初めてご利用の方

初回ログイン

## 2要素認証

① 認証コードを入力してください  
認証アプリ(TOTP)に表示されている6桁のコードを入力してください。

認証コード (6桁)

認証アプリ(TOTP)で生成された6桁の数字を入力してください

認証

🕒 コードは30秒ごとに更新されます

← ログイン画面に戻る

### 認証アプリ(TOTP)について

TOTP対応の認証アプリであれば、どれでもご利用いただけます。既にお使いのものがあればそのままお使いください。

💡 アカウント連携 (クラウドバックアップ) を設定しておく、機種変更時の引き継ぎが簡単です。

#### Google Authenticator :

Google Play / App Store

#### Microsoft Authenticator :

Google Play / App Store

- 3月下旬-4月初旬に、各施設の産婦人科責任者宛にIDとパスワードを記載した文書を送付します。
- 画面の注意書きに沿って、初回ログインを行っていただきます。
- 責任者ログインで、院内の職員のアクセスを設定して利用開始となります。

セキュリティのため  
スマホアプリの認証を使います



HOME

## お知らせ

現在お知らせはありません。

## メインメニュー



### 偶発事例報告事業

偶発事例の報告・確認・編集を行います

## 登録情報の変更

登録情報の確認・変更

## 偶発事例の報告 概要

1. 概要の入力

2. 詳細の入力

3. 内容の確認

4. 報告完了

■ 発生年月日(bq\_01~bq\_03) ※必須

年  月  日

■ 報告対象 (bq\_04) ※必須

選択してください

■ 患者年齢(bq\_05)  (半角数字2桁) ※母児が対象の場合は、母の年齢のみ入力

■ 妊産婦の場合は、以下も記入してください

- ・ 妊娠週数(bq\_06)  (半角数字：0~50の数字で入力)
- ・ G (経妊) (bq\_07)  (半角数字) ※今回の妊娠分娩を含む
- ・ P (経産) (bq\_08)  (半角数字)
- ・ 高度生殖医療 (体外受精 (IVF-ET)、顕微授精 (ICSI)、卵子提供など) (bq\_09)  
 有  無

■ 経過等 (bq\_10) ※必須

選択してください

■ 事例分類 (bq\_11) ※必須

事例分類によって、詳細の設問内容が変わります。  
それぞれの事例分類に対する詳細の入力が正しいかも合わせてご確認ください

## ▼ 偶発事例報告の絞り込み

絞り込みを行う場合は、下記に必要条件を入力して絞り込みを行ってください。

発生日：   ~

報告日：   ~

施設No.：  ~

フリーワード：



全ての条件を解除

上記条件で絞り込む

表示件数: 10件表示


全 14 件中 1 から 10 まで表示

報告日▼	発生日⇅	施設No.⇅	事例レベル⇅	大分類⇅	中分類⇅	状況⇅	
2024-10-15	2024-10-01	403185	3b	<input type="text" value="産科 (分娩管理中・母体)"/> <input type="text" value="産科 (分娩管理中・児)"/>	<input type="text" value="F手術・処置"/> <input type="text" value="G麻酔・無痛分娩管理"/>	確定処理済	<input type="button" value="確認する"/>
2024-10-12	2024-09-28	408576	4a	<input type="text" value="産科 (妊娠中・児)"/>	<input type="text" value="B検査"/> <input type="text" value="D妊娠管理"/>	送信済	<input type="button" value="確認する"/>
2024-10-10	2024-09-25	405291	4b	<input type="text" value="婦人科 (手術)"/> <input type="text" value="婦人科 (一般)"/>	<input type="text" value="F手術・処置"/> <input type="text" value="C薬剤・輸血"/>	一時保存中	<input type="button" value="確認する"/>
2024-10-08	2024-09-20	403185	3b	<input type="text" value="産科 (分娩後・母体)"/>	<input type="text" value="E分娩中・分娩後管理"/> <input type="text" value="C薬剤・輸血"/>	確定処理済	<input type="button" value="確認する"/>

- 施設の責任者は、施設内のすべての報告を閲覧可能
- 都道府県産婦人科医会は、その都道府県内のすべての報告を閲覧可能
- 日本産婦人科医会は、全国のすべての報告を閲覧可能

### 承諾事項

- 日本産婦人科医会、都道府県産婦人科医会に本事例を共有することに承諾します。 ※必須
- 無痛分娩関係学会団体連絡協議会(JALA)に本事例を共有することに承諾します。
- (東京都内医療機関における無痛分娩に関する事例) 東京都と本事例を共有することを承諾します。

報告書を提出 

確認画面で 報告事例についての「承諾」を得る

# 今後のスケジュール

2026年

3月 開発の最終調整（報告部門、管理部門、外郭管理）

3月末 各施設にログインデータを郵送

都道府県産婦人科医会事務局へログインデータを連絡

4月 運用開始

2026年の入力は、2027年1月31日まで 従来通りゼロ報告も必要

医会の集計は、発生日ではなく報告日ベースで行う予定

（発生日を特定しにくいケースも気にせずご報告ください）